

当期の業績の概況 (2005年3月期)

Outline of Consolidated Financial Results for the Year Ended March 2005

2005年3月期は、国際旅客などをはじめとする航空関連マーケットの回復や、2004年1月の(株)JAS(ジェイエイエス)トレーディングとの合併影響額の通期寄与などにより、各事業とも好調に推移いたしました。

特に、国際旅客を対象とする、成田空港免税店『JAL-DFS』や国際線機内販売用免税品、また、合併による店舗数の拡大や効率化を推進した国内空港店舗『BLUE SKY』などで、大幅な増収増益となりました。

さらに、航空機部品、食品、印刷メディア、ライフデザイン(保

険・不動産)事業などにおいても順調な業績をおさめ、売上高は986億円(前期比115%)、売上総利益は231億円(同114%、航空関連事業≒36億円、生活提案事業≒195億円)といずれも前期を上回りました。

また、合併に伴う販売費および一般管理費の増加抑制などに努め、営業利益は27億円(同132%)、経常利益は29億円(同150%)と前期を大幅に上回りました。

これらにより、当期純利益は14億円(同132%)となり、3期連続で最高益を更新することができました。

来期の業績の見通し (2006年3月期予想)

Outlook for the Year Ending March 2006

2006年3月期においては、需要のゆるやかな拡大を見込み、航空関連事業では、航空機部品の保管・供給ビジネスの拡充や、海外の空港・インフラ関連事業への参画などにより、基盤のさらなる強化をはかってまいります。

一方、生活提案事業では、商品・サービス品質の向上を推進し、通信販売や空港店舗など、リテールビジネス(小売事業)の拡充をはかってまいります。

さらに、新規事業*にも積極的に取り組み、文化分野における映像コンテンツ制作事業では、中国全土の名勝をデジタルハイビジョン映像に収録した『中国大紀行』DVDソフトの

販売を展開してまいります。

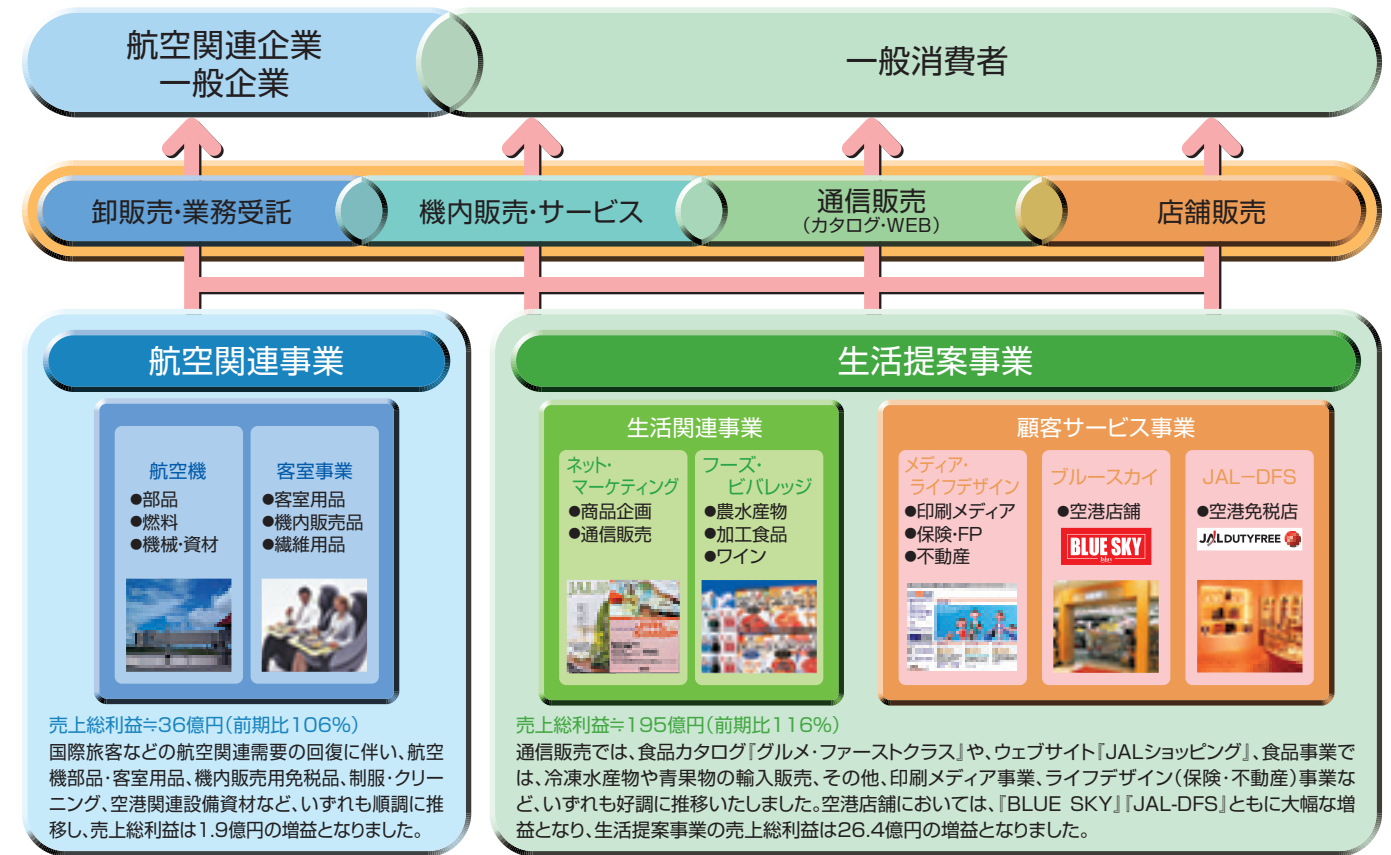
また、厚生分野では、2004年に開設した『JALUXグッドタイムホーム・調布』(介護付有料老人ホーム)の安定的な運営や、JALパッケージ・オーナーシップ・システムへの取り組みなど、お客様の心豊かな生活に寄与する、新たな価値をご提供してまいります。

これらにより、売上高1,030億円(前期比104%)、経常利益32億円(同111%)、当期純利益16億円(同111%)と、引き続き増収増益を見込み、継続的な成長を目指してまいります。

* それぞれの商品・サービスの内容については、最終面をご参照ください。

当期のセグメント別概況

Performance per Operating Segment



Consolidated Financial Summary

業績の推移および計画(連結)

(単位:百万円)

●2006年3月期以降は予想または計画値です。

将来の計画に関する記載は、現在において入手可能な情報および仮定に基づき作成しており、実際の業績はさまざまな要因により計画と異なる場合があります。

